

中部大学「授業サロン」の実施に関する申し合わせ

1. 「授業サロン」の狙い

「授業サロン」（以下、サロンという）とは、“組織的な授業見学、および意見交換会の実施”である。この企画では、主に授業見学を材料として、授業の考え方、学生の反応、問題点、工夫、改善案等について、互いの情報交換・意見交換を通じ、教育上における問題対応策や様々なケースにおける授業改善のヒントを見出すことを目的とする。また、本学が総合大学でもあることから、同じ分野の教員同士ではなく、あえて異なる分野、文理の壁を越えた教員が互いの情報・意見交換（異種格闘・交流）することで参加教員が異分野ならではの視点を見出すこと、そして、この企画により学部を超えた教員のFDネットワークを広げることも狙いとする。

すべての授業見学後に意見交換会でフリーディスカッションを実施し、参加メンバーの授業改善に繋げる、また、将来的には、授業改善における共通のキーワードやスキルを抽出し、紹介することにより全教員で共有する。

2. 「授業サロン」の概要

1) 主な活動

- ①事前打合せ メンバーの紹介、今後の運営方針、スケジュール調整（授業見学および意見交換会の日程）
- ②授業見学 メンバー全員各1回公開し、計5回（見学は各メンバー4回）
※本人の振り返り、および見学できなかったメンバーのために、当該授業を担当部署の協力を得てビデオ撮影する。（授業改善ビデオ撮影支援制度の活用）
※授業見学は、「授業オープン化の実施に関する申し合わせ」に準じて行う。
- ③意見交換会 後述の資料に沿った各メンバーの授業に関する意見交換（まとめ）

2) 作成する資料（所定様式）

- ①授業担当者：授業紹介シート（授業見学前に記入して配付）
授業の振り返りシート（授業見学終了後に記入）
その他（シラバス、授業配布資料など）
- ②授業見学者：授業見学コメントシート（授業見学後に記入して提出）

3) 実施における留意点

- ①春学期、秋学期にそれぞれ1～2グループ実施する。
- ②1グループは、原則として5人で構成する。
- ③参加者は、公募による応募者、学部・学科等の組織からの推薦者、およびサロン経験者による推薦者の中から学部等のバランスを考慮して大学企画室が案を作成し、FD活動WGにおいて決定する。
- ④グループには、1人以上サロン経験者が加わり、サロン経験者がとりまとめ役になる。
- ⑤大学企画部は、サロン運営の事務面をサポートする。

以上

附則 この申し合わせは、2010年3月16日開催のFD委員会において承認され実施する。

附則 この申し合わせは、2019年5月21日開催のFD・SD委員会において改正が承認され、2019年度より適用する。

附則 この申し合わせは、2025 年 3 月 11 日開催の FD・SD 委員会において改正が承認され、2025 年度より適用する。